

令和5年度岡山県民オリエンテーリング大会 MA ルート解説

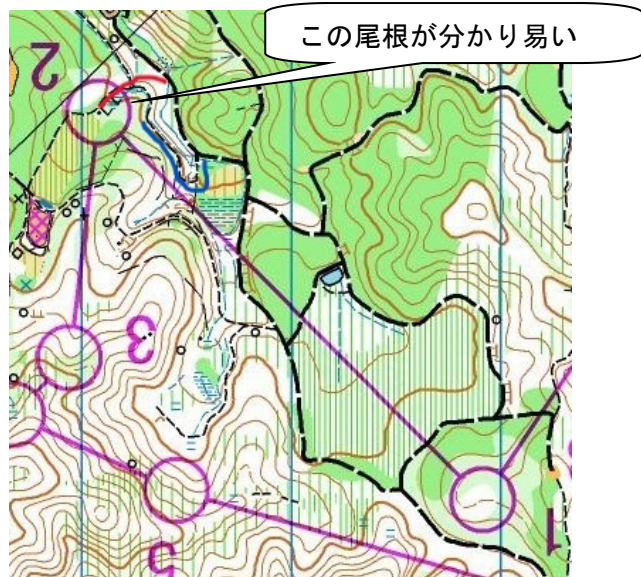
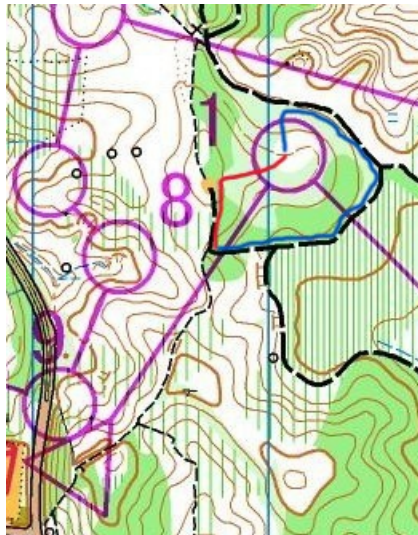
岡山県オリエンテーリング協会 石井

△→1

アタックポイントはヤブを避けるため開けた土地（赤ルート）。不安なら道を大きく回り込んで尾根を巻くようにして沢を詰める（青ルート）。赤ルートはコンパス直進をしつつ、広い尾根の左側の広い沢のイメージで。

1→2

コントロールのある沢に入るイメージで、道の曲がり付近から道を離れる。目的の沢の手前に尾根がせり出しており特徴的なので意識する（赤ルート）。道を回って行く青ルートもあるが、道の乗り換えでミスをしないように丁寧にたどる必要があり、意外と難しくてストレスがかかる。

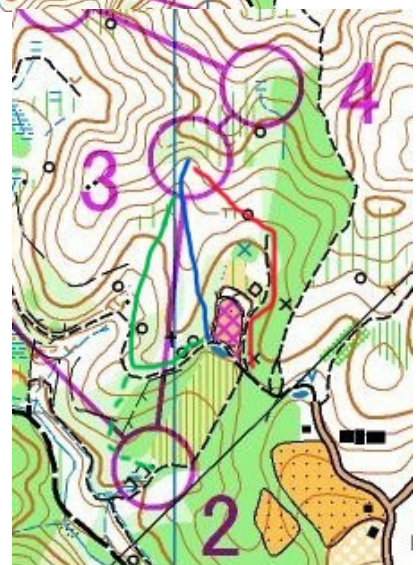


2→3

畑の東側の道を引っ張ってアタックする方法（赤ルート）と、畑の南西角から尾根を越えて沢に入っていく方法（青ルート）、ヤブ西へ避けた後北上して沢へ入る（緑破線&緑実線）の3つのルートを検討。緑ルートは2番コントロール脱出時の斜面やヤブが大変そうなこと、赤ルートは”道の終わりは一般的にはっきりしていない”、ことから青ルートを選択。道と沢線だけで辿れる緑実線ルートもある。緑ルートは最後の登り詰めていく沢を間違えないように注意。

3→4

尾根を越えて裏側の沢へ入っていく直進だが、下目に（右寄り）に進めば細い水路に当たるのであとは水路に沿って登っていけば良い。



4→5

前半の難所となるレッグ

斜面を横断しながら長い距離を直進するのはなかなか難しい
(赤ルート)。

右から尾根を辿ってくる場合も尾根の乗り換えが難しい
(青ルート)。

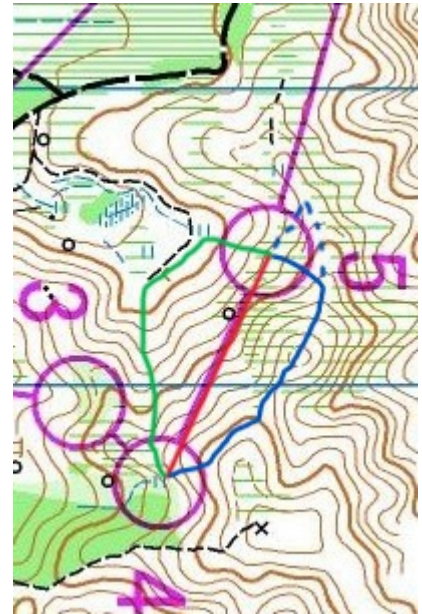
一旦沢に下りてしまうのが最も簡単だが、登り返しが多くなる
(緑ルート)。

赤ルート、緑ルートの場合

コントロールは大きな沢の直前の小さい尾根。

コントロールは北東に伸びる斜面にある最後の尾根で、その先で斜面は北西に大きく向きを変える。

ということ意識しておくといふ簡単になる。赤ルートで手前の尾根でうろうろしたり、緑ルートで違う尾根に登って行ってしまうリスクを消すことができる。



青ルートの場合

主尾根の形状(細くなったり、平らになったり)や微妙な方向の変化から現在地を特定しないと、どこから主尾根を離れば良いか判断ができないため難易度高い。青破線のように尾根が平らになるところまで行き過ぎて、左側から伸びてくる大きな沢やその奥の西へ伸びる尾根を目視してから戻るようにアタックすると分かり易くなる。

<https://studio.youtube.com/video/sbf0SbAmejk/edit>

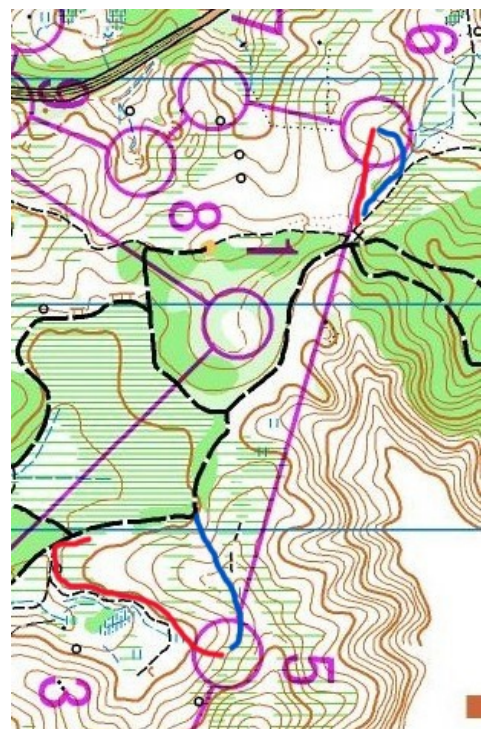
5→6

脱出は沢に下りて道を辿る赤ルート、まっすぐ西へ向かう青ルートがある。

青ルートの場合にはコンパスでしっかりと方向を定めて尾根線に流されないように注意して尾根の西側の沢へ入る。

アタックでは道の分岐から直進する赤ルート、道を引っ張って尾根を巻いてから沢を詰めていく青ルートがある。いずれも手前の尾根、コントロールの沢の形状を意識しておく。

石井は青ルート。アタックは赤ルートのプランだったが、斜面が走り難そうだったので青ルートに変更。



6→7

直進（赤ルート）。6番コントロールのあった沢を登り詰めて尾根を越えて広い沢へ下りた向こう側斜面にある沢。植生界を使って広い沢まで下りても良い（青ルート）。植生界正面の沢ではなく右寄りの沢だということを意識する。

石井は青ルートを取ろうとして東側の沢へ入ってしまうミス。

7→8

途中の崖の上をかすめて行く直進主体の赤ルート。

崖の先の緩い尾根の先の沢の付け根というイメージ。

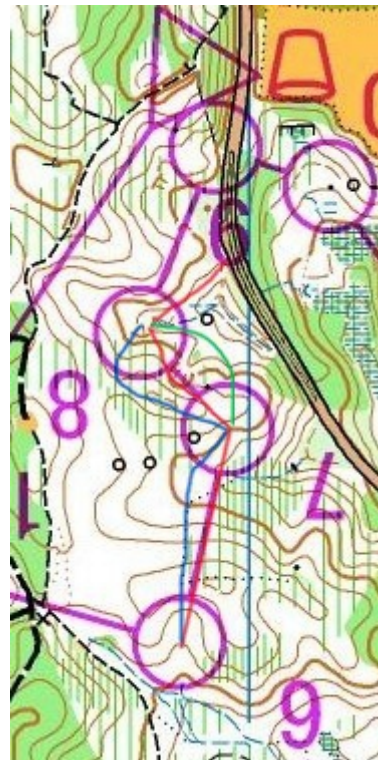
尾根を辿って行ってピークの先の右側の沢を下ってくる青ルート。

地形的には分かり易いルート。

尾根を横断して沢を降りてしまう緑ルート。

下りきった傾斜の変わり目（傾斜変換線）に沿って左手に進んでいく。

どれも大差はないと思われます。石井は赤ルートを取ったが足元が悪く進みは遅かった印象。



8→9

道に出るのにコンタリング（斜面を等高線に沿って高さを維持して進む）をしていかないと凹地に下りて道まで斜面を登ることになる。

9→10

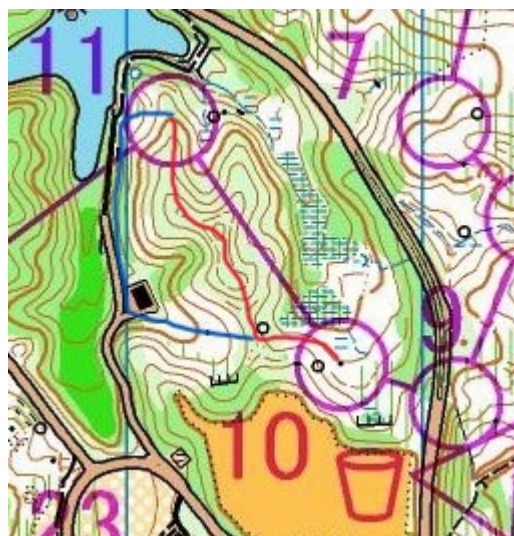
真西に進んで沢に入ってしまった、沢の左寄り（西寄り）を進むとコントロールに着く。崖も分かり易い。

10→11

尾根辿り（赤ルート）技術を要する中盤の難所。

自信が無ければ道を使って回り込んでもよい。（青ルート）尾根辿りは、ピークや尾根の分岐ごとにコンパスで進みたい尾根の方向を確認して進んでいく。沢（尾根の両サイドの斜面）を意識して進むとやり易いが、異なる尾根に入ってしまうないように慎重にコンパスを使って進む。

<https://studio.youtube.com/video/a-vdRbJy5ls/edit>



1 1 → 1 2

アタックは小径を使ってコントロールに横から入ってくる赤ルート、車道を引っ張ってコントロールに正面から入っていく青ルートがある。

赤ルートの場合は、斜面下目を進みながら上（左）を見上げて進む。

青ルートの場合は道の曲がりを利用して道の左側が低く凹地になっていたところから尾根に変わっていく場所を捉えてからアタック。コンパスを正確に直進して入っていけば正面の沢

石井は確実性が高いと感じたので青ルートを選択。

1 2 → 1 3

鞍部を抜けて車道に出て、そのまま車道と水路を横断して正面の尾根に登っていく直進基調の脱出から、不明瞭な小径を辿って沢に入る赤ルート。アタックでは尾根を登っていき尾根の曲がりから沢へ入ってくる青ルート。

脱出では不明瞭な小径を辿ってくる緑ルートがある。

石井はアタックは青ルートのプランだったが、尾根を登るのがきつそうだったこと、コントロールが道からそんなに登らないことから、赤ルートに変更。

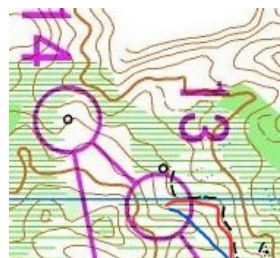
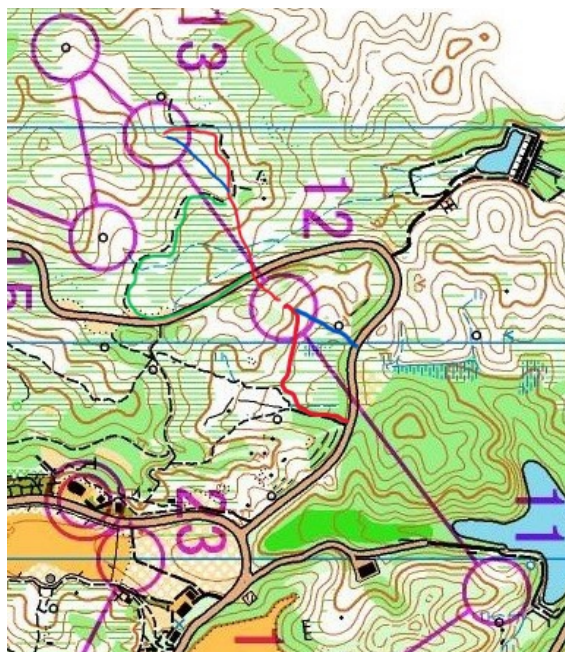
1 3 → 1 4

直進。ずれるとどこにいるか分からなくなる恐れがあり、不安にもなるレグ。高さを維持するイメージも持って進む。

コントロール手前は地形がはっきりせず分かりにくい（特徴がないことも有効な特徴）ため、コントロール奥の沢の形状を活用してアタックする。東に伸びる沢がコントロールより下（西）で南に伸びる沢と合流して広がっている。

1 4 → 1 5

鞍部を越えて正面の沢の右寄りを下っていくイメージ。脱出では鞍部までの地形が曖昧なのでコンパス直進で鞍部が見えてくるまでは進む。



15→16

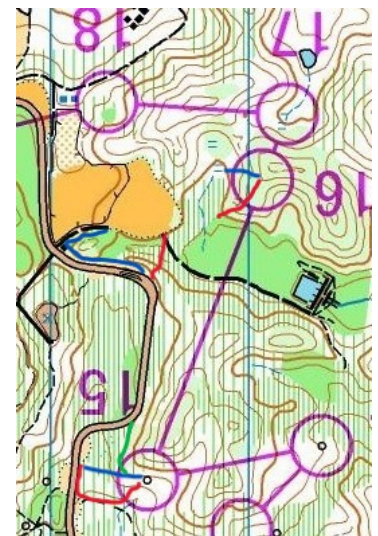
脱出では北の道に出てしまう赤ルート、東へ脱出する青ルート、コンタリングで最後は北に抜ける緑ルートがある。緑ルートが最短距離で速いと思われる。

中間部分では道の曲がりから濃い緑ハッチを突っ切る（赤ルート）か道を回って行くか（青ルート）

アタックでは尾根を登り詰めるか（赤ルート）、東側の小さい沢を登り詰めるか（青ルート）

石井は脱出は青ルートを選択した。緑ルートは思いつかず。

中間部分はヤブを突っ切る赤ルート。アタックもシンプルに赤ルートしか思いつかなかった。



16→17

直進。左（東）にわざとずらして沢を西へ下ってもよい。

17→18

18番コントロールの沢は繋がりが曖昧で上から分かりにくい。右側の尾根は線につながっている（青色破線）ため、右側の尾根（青色破線）に沿うようにして下ってくると良い。この尾根はピークから反対側の左側（北）へ伸びる尾根（赤色破線）との位置関係を確認すれば間違えない。

<https://studio.youtube.com/video/AKCFxVuDd1M/edit>



18→19

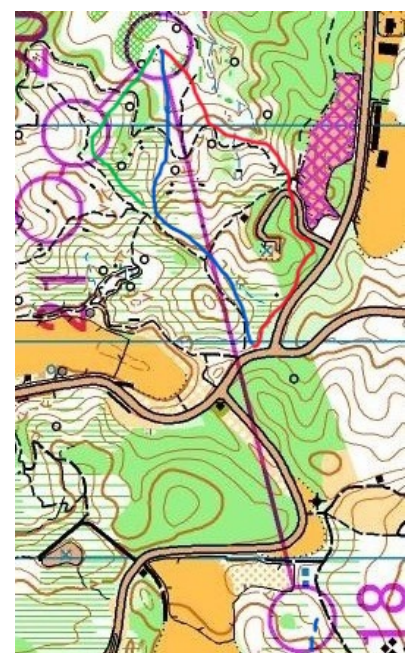
中盤以降は大きく三つのルート。

車道を南西に進み果樹園手前の車道を左に入る。大きく尾根を巻くヘアピンカーブの部分から直進していく（赤ルート）。

レグ線沿いの道を進んで右側のピークが終わった先の右側の沢を下りていき、小径とぶつかった後は直進しながら沢を越えて尾根上の岩へ（青ルート）。

青ルートで使って小径をさらに北東へ20番付近まで進み、コントロールのある尾根を下ってくる（緑ルート）

石井は赤ルートは思いつかず、緑ルートは遠回りでも気になったので青ルートを選択。



19→20

ひたすら尾根を登り詰めていき尾根上の小径にぶつかったら、その向こう側の沢へ。

20→21

尾根（ピーク）を越えて直進する赤ルート。

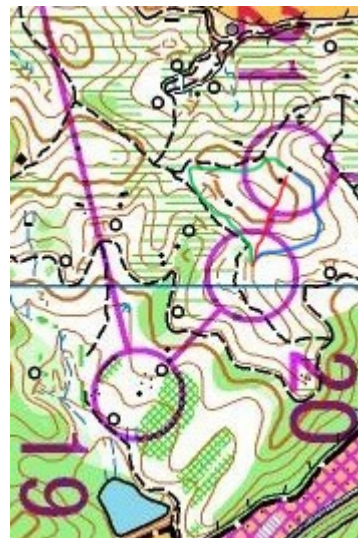
尾根（ピーク）を巻いていくコンタリングの青ルート。

道を回って行く緑ルート。

赤ルートの場合は最後の地形（ほんのり沢っぽい）を意識しておく。

青ルートは踏ん張りきれずにずるずると落ちるとどんどん距離が伸びてしまうので注意。

緑ルートは小径が尾根線に乗り、その先の鞍部が分かった辺りからアタックする。



石井はもう登る元気が残っておらず青ルートを選択。緑ルートは思いつかなかった。

21→22

沢の小径に下りて、小径を辿って、沢を詰める。

22→23

コンタリングで脱出すればちょうど小径の分岐に出ることができる（赤ルート）。

